



# 歌浦っ子・ベゴニア通信



## 大雪でテンション爆上がり！



文責 ブラッセル日本人学校補習校  
校長 佐藤 博

1月に入りました。新年あけましておめでとうございます・・・といってももうずいぶん過ぎちゃいましたね。この通信を楽しみにしていた皆さん、遅くなってしまい申し訳ないです。さて、みなさんは年越しの瞬間、どのように過ごしましたか？

日本は紅白歌合戦を見て、年越しそばを食べ、近くのお寺に除夜の鐘をつきに行く、といった静かな年越しのイメージがありますが、海外といえども花火をあげながら大騒ぎの年越しを迎えるというのが一般的のようです。こちらブリュッセルでも、グランプラスを中心にたくさんの花火が上がっていました。またアメリカの CNN というテレビ局は各国の年越しの様子を世界中に中継していて、花火がバンバン上がる世界の様子を見ることができました。が！なんと、その中継の途中に、「Nagasaki JAPAN」からの中継があるではないですか！びっくりしてよく見るとなんとハウステンボスの年越し花火が・・・我が佐世保の様子が世界に中継されるなんて嬉しいですね。



ハウステンボスの年越し花火の様子

さて1月中旬のことですが、ブリュッセルに大雪が降りました。ブリュッセルは北緯50度に位置し、北海道よりもさらに北にあるため、こちらに来る前はよほど寒いのだろうと覚悟はしていたのですが、気温は低くてもそんなに多くの雪が降ることはほぼなかったです。今回17日(水)の昼間に大雪が降って、また気温も低かったため溶けることもなく見る見るうちに雪が積もっていきました。学校の子どもたちは大はしゃぎ！もちろん先生も生まれは福岡、育ちが長崎なので、そんなに雪が積もるとい経験がないため、同じく大はしゃぎ！粉雪でなかなか雪玉も作れず、特に雪だるまとなるとなかなか雪が固まらず苦労していたようですが、こういう機会はめったにないので子どもたちも大はしゃぎでした。ところで日本の雪だるまって大きな雪玉を二つ重ねたものが思い浮かべると



おら、オラフ

思いですが、海外の雪だるまは3段で作られているって知っていましたか？「アナと雪の女王」の「オラフ」を思い出してみるとピンとくると思います。背が高くて、なんかこちらの体型に合わせた雪だるまみたいです。上の写真にあるように、全日の子にも作ってもらったのですが、先ほど書いたように雪がさらさらで難しかったみたいです。

さて、その日の帰り道はもちろん町中に雪が積もっていて歩くのも大変。ただその帰る途中に、そこに子どもを乗せて引っ張っているお父さんを2組も見かけました。こういう状況になっても、それを楽しみに変えるベルギー人のおおらかさってすごい！引っ張ってもらっている子どもは、それはそれは嬉しそうでした。この雪は約5日ほど溶けずに残っていたのですが、今週、暖かくなってさすがの雪も全て溶けてしまったようです。残念ですが、これだけの雪に出会ったのは私も生まれて初めてだったので、テンション爆上がりの5日間でした。



## 補習校で体験する日本文化！



1月6日に始まった補習校、初日は「日本のお正月デー」と称し、小1はお正月遊び、小2以上は書き初めに挑戦しました。お正月遊びは日本では定番のコマ回しや羽子板、けん玉や福笑いに挑戦します。特にけん玉は、昨年、岸田総理夫人が来校してくださったときにたくさんいただいたものがあって、補習校の子どもたちの間でもブームになっているため大人気でした。書き初めですが、普段の生活の中でほとんど筆を使うことがなく、この書き初めの時だけ習字をする補習校の子どもたち・・・ただその割には、びっくりするくらいみんな上手に書いていましたよ。

また、次の週の1月13日は、PTA 餅つき大会！

これは子どもたちにとって大人気の行事で、特に中学3年生になると杵と臼を使って餅つきをするのですが、この餅つきをしたいがために補習校に通っているという生徒さんもあるほどです。ただ大変なのは準備をしてくださるお母さん方。230名の子どもたち全員が満足できるように朝からたくさんのもち米を炊いて準備してくださいました。補習校はこのようなPTAの皆さんに支えられながらたくさんの楽しい行事が行われているんですよ。

